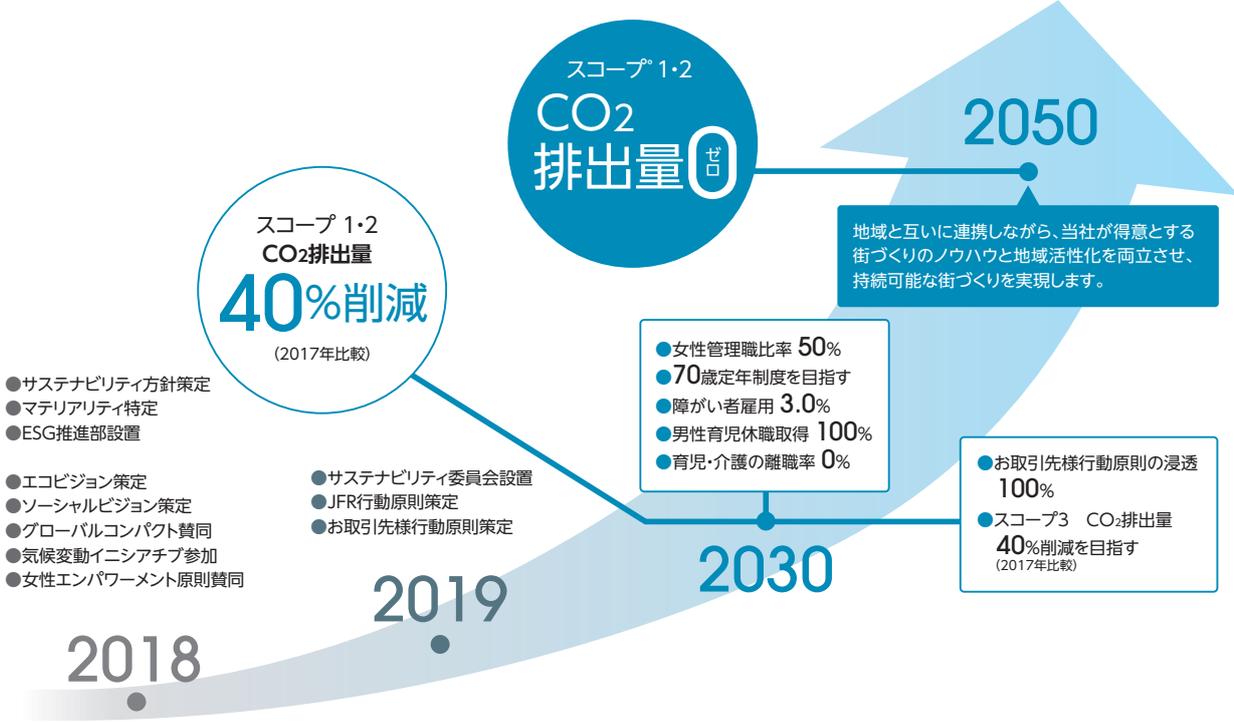


サステナビリティ・ロードマップ

持続的な企業価値向上を目指して、2030年、2050年のあるべき目標を設定し、バックカastingによって「非連続な取り組み」にチャレンジしてまいります。

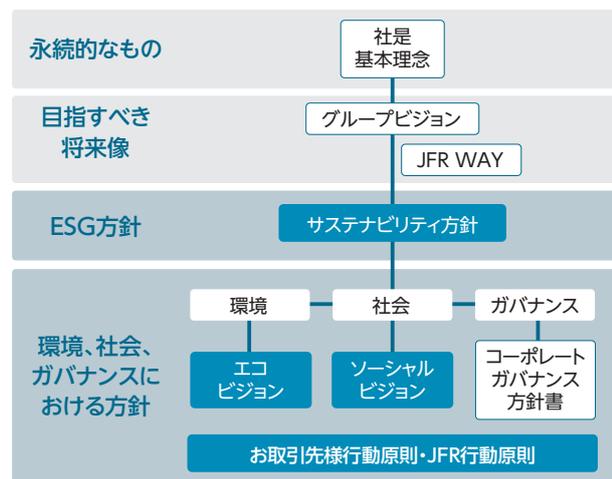


サステナビリティ委員会の設置

ESGの重要課題への対応を通じたサステナビリティ経営をグループ全社で横断的に推進させるため、サステナビリティ委員会を設置しています。この委員会は、リスクマネジメント委員会・コンプライアンス委員会と並ぶ、代表執行役社長直轄の諮問委員会と位置づけ、半期に一度開催し、JFRグループとして一貫通貫の取組みとなるようグループ各社の5つのマテリアリティについての実行計画策定と進捗モニタリングを行っています。また取締役会ではサステナビリティ委員会で論議された内容の報告を受け、ESG課題への長期目標や取組み進捗についての議論・監督を行っています。

ESG活動方針

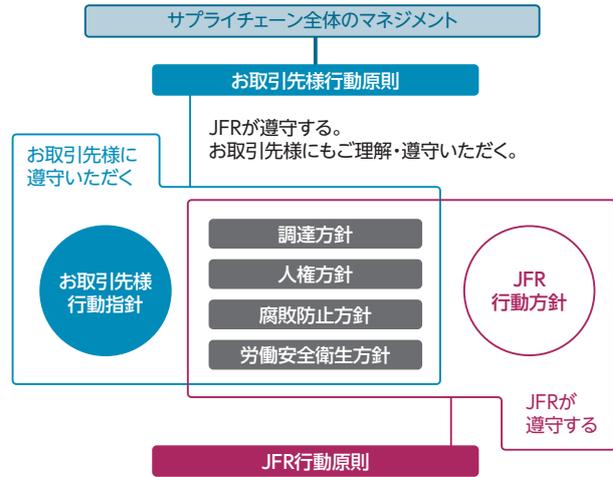
ESGの取り組みの全体方針を規定する「サステナビリティ方針」は、すべてのESG活動の指針となるものです。「サステナビリティ方針」を受けた環境、社会の個別ビジョン(エコビジョン、ソーシャルビジョン)を策定し、コーポレートガバナンス方針書とあわせてESG活動の指針としました。これらを受けた具体的な取り組みを進めていくために、具体的な行動レベルに落とし込んだ「JFR行動原則」と「お取引先様行動原則」を策定しました。これらの原則に従業員、お取引先様と共有化し、ESG活動を推進していきます。



JFR 行動原則とお取引先様行動原則

JFR 行動原則は、JFRグループのすべての役員・社員一人ひとりが、社是・ビジョンの実現に向け、社会的責任を果たすために、自らの役割と責任を認識し、高い倫理感を持って行動するという観点から役員・従業員が理解し、日々守るべき基本的な行動を定めたものです。

また、お取引先様行動原則は、JFRグループとお取引先様がともに社会的責任を果たしていくために遵守すべき事項を定めたものです。JFRグループでは、本原則を遵守することで、お取引先様とともに社会的責任を果たし、企業価値の向上の実現を目指していきます。



JFR 行動方針・お取引先様行動指針と4つの方針を策定

JFR 行動方針・お取引先様行動指針

「行動原則」の中で最も基本的な方針です。「公正な企業活動の徹底」「人権・労働環境への配慮」「環境への配慮」「商品・サービスの安心・安全への配慮」「地域社会への貢献」の5つの項目について、当社が遵守するとともに、お取引先様にご理解とご協力を求めています。

調達方針・人権方針・腐敗防止方針・労働安全方針

① 調達方針

事業に最適な調達の実現に向け、商品やサービスを調達し事業競争力を高め、企業価値の向上を実現するための方針です。

② 人権方針

私たちのあらゆる事業活動の土台となる様々な人権問題について理解を深め、適切な行動をとっていくための方針を策定しています。

③ 腐敗防止方針

汚職・贈収賄を企業の信頼を著しく損なう重大なリスク要因として認識し、それに該当するおそれのある行為を未然に

防止し、公正で透明性の高い企業活動を遂行します。

④ 労働安全衛生方針

労働安全は事業活動の最重要基盤であるとの考え方のもと、安全と健康の確保を最優先として、従業員の労働安全衛生水準の向上に取り組みます。

「JFR 行動方針」「お取引先様行動指針」の項目	
① 公正な企業活動の徹底	① 法令順守 ② 反社会勢力との取引禁止 ③ 汚職、賄賂などの禁止 ④ 不適切な利益供与および受領の禁止 ⑤ 競争制限的行為の禁止 ⑥ 情報公開 ⑦ 個人情報情報の漏えい防止 ⑧ 知的財産の保護 ⑨ 責任ある調達の推進
② 人権・労働環境への配慮	① 差別の禁止 ② ハラスメントの禁止 ③ 安全な労働環境の提供 ④ 結社の自由と団体交渉の尊重 ⑤ 強制労働の禁止 ⑥ 児童労働の禁止 ⑦ 地域コミュニティに対する責任 ⑧ 防災対策
③ 環境への配慮	① 地球温暖化への対応 ② 持続可能な資源利用 ③ 汚染防止 ④ 生物多様性 ⑤ 化学物質の排除
④ 商品・サービスの安心・安全への配慮	① 安全基準の遵守 ② 事故の発生・拡大の防止 ③ お客様への対応
⑤ 地域社会への貢献	① 地域社会の発展を実現するための活動 ② 地域社会との連携

社内浸透策

ESGの取り組みを推進するためには、従業員一人ひとりがその目的と意義を理解し、「自分ごと」として取り組むことが必要不可欠であると考えています。そのために、各事業会社で経営層自らESGの取り組みの背景や重要性について説明を行うと共に、社内報を通じて啓蒙をはかっています。

